

2009.7～9月 Event Schedule

特別展関連イベントのお申し込み・お問い合わせ先
 「国宝 阿修羅展」インフォメーションセンター ☎092 (712) 8231
 〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-34 KBCメディア内
 (10:00～17:30 土・日曜、祝日を除く)

日付	イベント名	場所	時間
■7月5日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート 「18弦の祝宴」～ギタートリオ～	1Fエントランスホール	①13:00～ ②15:00～
■7月18日(土)～ 20日(月・祝)	九博夏休み子ども向けイベント 「行こうよ! あじっば夏祭り」	1Fエントランスホール あじっば	11:00～15:00予定
■7月26日(日)	特別展「国宝 阿修羅展」関連イベント 記念講演会「興福寺創建と天平文化」	※要申し込み、聴講無料 1Fミュージアムホール	13:30開場 14:00～15:30
■8月2日(日)	特別展「国宝 阿修羅展」関連イベント 記念講演会「国宝 阿修羅像について」	※要申し込み、聴講無料 1Fミュージアムホール	13:30開場 14:00～15:30
■8月8日(土)	きゅーはくミュージアムコンサート	1Fミュージアムホール	①13:00～ ②15:00～
■8月9日(日)	太宰府市民吹奏楽団「まほろばコンサート」	1Fミュージアムホール	①11:00～ ②14:00～
■8月23日(日)	特別展「国宝 阿修羅展」関連イベント 記念講演会「阿修羅像と光明皇后」	※要申し込み、聴講無料 1Fミュージアムホール	13:30開場 14:00～15:30
■9月6日(日)	第13回九博朝日寄席 講談／落語「異種」伝統話芸の「響演」	※有料 1Fミュージアムホール	13:00開場 13:30開演

※上記イベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。
 詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。

きゅーはくニュース

入館者600万人達成!!

2009年6月11日、入館者600万人を達成しました。開館から約3年と8カ月、多くの方々に来館していただけるのは、さまざまな方面からのご支援のおかげです。これからも皆さまにとって親しみやすい博物館を目指していきます。



記念すべき600万人目の来館者



開館時間
 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日
 月曜日
 (月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)
 7月20日、9月21日は開館

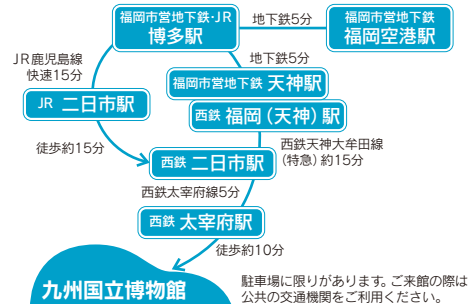
観覧料(特別展は別料金)

一般:420円(210円)
 大学生:130円(70円)

特別展「国宝 阿修羅展」

一般:1,300円(1,100円)
 大学生:1,000円(800円)
 高校生:800円(600円)
 小学生・中学生:600円(400円)

交通案内



※()内は前売り、20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下、18歳未満及び70歳以上の方は、文化交流展示室については無料。入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展「国宝 阿修羅展」の観覧料で、文化交流展示室もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展「国宝 阿修羅展」の()内料金でご入場いただけます。入館の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。
 *特別展「国宝 阿修羅展」の開催期間は7/14(火)～9/27(日)です。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

ご案内 NTTハローダイヤル

050-5542-8600

※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

www.kyuhaku.jp

次回特別展も楽しそう!

2009年10月20日(火)～11月29日(日)

九州王国の伝説 ―古代九州の力― (仮称)

次回特別展は、ずばり九州がテーマ。2011年に九州新幹線の全線開通を控え、九州各地がますます近い存在となることを想定し、いま一度、九州らしさとは何かを考えてみたいと思います。古くから新しい文化を受け入れつつ、独自性を重んじ多様性に富んだ九州の文化を、ここでは九州王国と名付けてみました。

同展では、九州考古学の最新成果と、東京や関西の博物館から初めて里帰りする九州ゆかりの名品たちが一堂に会し、歴史のかたに消えた九州王国の姿を浮かび上がらせま。



佐賀県 谷口古墳副葬品 東京国立博物館所蔵

Asiaage

九州国立博物館 季刊情報誌 アジアージュ

vol.13

KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

天平の美少年に、

何を見る。

特集

国宝 興福寺創建1300年記念

特別展

阿修羅展

The National Treasure ASHURA and Masterpieces from Kohfukuji

2009年7月14日(火)～9月27日(日)

観る

遊ぶ

知る

きゅーはく

ぐるり360度、心静まる時間が流れる。

2010年の奈良・興福寺創建1300年を記念して、名宝の数々が九州に上陸する。日本の仏像の中で最も有名で、熱烈なファンも多い「阿修羅」を筆頭とする国宝の八部衆像8体のうち5体、十大弟子像（現存6体）のうち4体が、九州国立博物館に姿を現すのだ。阿修羅像が人々を魅了してやまないのは美少年だから、という理由だけではない。凛としたたずまいと静かに何かを見つめるまなざし。激しさと穏やかさが相まった複雑な表情。脱活乾漆造による繊細で深遠な造形表現が見る者の心をとらえて離さないのである。普段はガラスケース越しにしか拝観できないが、今回は露出展示で360度つぶさに拝めるのもトピック。門外不出の“天平文化の結晶”と九州でじかに対面できる、恐らく今世紀最後の機会になる。

だっ かつ かん しつ づく り

脱活乾漆造

粘土の原型に麻布を貼って漆で固める作業を繰り返した後、粘土を取り除いて内部を空洞にする。表面は木粉と漆を練り合わせた木屎漆（こくそうるし）を盛り上げて成形する。木彫よりも繊細で柔らかな表現が可能で奈良時代に流行した。



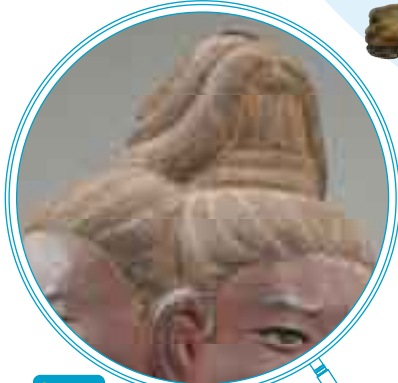
Scope

なにゆえ？耳の数
正面の顔には二つあるが、左右の顔には一つずつしかない。奇異なのに不自然に感じないのが不思議。



Scope

正面向かって左の顔
眉を寄せ、唇を噛み締める表情が印象的。怒っている？それとも怒りに耐えている？



Scope

現代にも通じる“盛り髪”?!
髷（もとどり）と呼ばれる結い上げた髪。なんだか今の日本の女子にも通じる盛って上げたヘアスタイル。髪量が豊かである。



Scope

おしゃれな腕輪
スツと伸びた6本の腕すべてに、腕飾りの臂釧（ひせん）やプレスレットの腕釧（わんせん）を装着。



八部衆

阿修羅

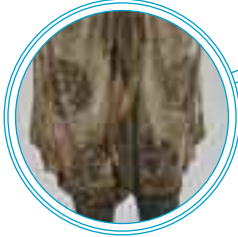
あしゅら

スラリと伸びた手足に小顔。抜群のプロポーションはモデル顔負けの八頭身である。像の前に立つと、その華奢（きゃしゃ）な体つきに驚く。
像高153.4cm、重さ14.85kg



Scope

腕それぞれ
第一手…仏に帰依することを表現した「合掌」
第二手…造立時は太陽と月を指す「日輪」「月輪（がちりん）」をささげていたと考えられている。
第三手…手首を内側に曲げている。弓矢を持っていたともいわれる。



Scope

スカート着用
巻きスカートのような衣装は褶（く）ん」という。金で縁取られ、模様は空想上の花「宝相華（ほうそうけ）」」。ドレープも表現されファッショナブル。

美しき天平の祈り、阿修羅に向かう心が。



Scope

真っ赤だった阿修羅
三つの顔に6本の腕、そして正面の眉をひそめた憂いの表情で見る者を引き付ける。造られた当時、その肌色は真っ赤だった。



Scope

胸元にはネックレス
胸には大粒の宝石をあしらった長めのネックレス、環珞（よろこく）が掛かる。



Scope

素足にサンダル
足元は素足に板金剛と呼ばれるサンダル履き。台座は水際の岸辺を表現した洲浜座（すはまざ）。

八部衆

仏教の諸尊は、如来、菩薩、明王、天という4種類に分けられる。阿修羅をはじめとする八部衆は「天」に属し、仏の教えを守るガードマンの役割を持つ。もとは古代インドで信仰された精霊や鬼神で、手が6本あったり、角があったり、鳥の姿もある。とはいえ興福寺の八部衆は、どこか少年のような表情も特徴。



さ から

沙羯羅

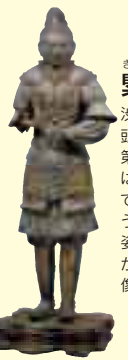
体に巻き付いた蛇が頭の上でとくろを巻いているが、顔はほったばくりのペビーフェイス。ひそめた眉もあどけない。甲冑（かっちゅう）、すね当て、沓（くつ）で完全武装。
像高154.5cm



けん だつ ば

乾闥婆

波めのハンサムだが執金剛神で、獅子のフードをかぶる。獅子はカッと目を見開いているが、本体は八部衆の中で唯一、目を閉じている。まるで泣いているような…。
像高148.0cm



きん なら

緊那羅

波めのハンサムだが頭に角があり、額には第三の目。キンナラとはサンスクリット語で「人や否や?」という意味で半人半獣の姿だったという。右腕から心木が見える。
像高152.4cm



か ろ ら

迦楼羅

とさか、くちばし、ギョロリとした怒りの目がインパクト大。インド神話では「ガルダ」と呼ばれ、龍を常食する霊鳥神。八部衆の中で1体だけ横を向いている。
像高149.0cm

十大弟子

釈迦には1250人ももの直弟子がいたとされ、特に優れていたのが十大弟子。出身も性格も異なり、それぞれの優れた能力で「智慧（ちえ）第一」「神通（じんつう）第一」などと呼ばれた。興福寺の十大弟子は今日6体が残る。青年、壮年、老年と年齢の変化や顔の表情だけでなく、それぞれの内面性までも感じられる。



す ぼ だい

須菩提

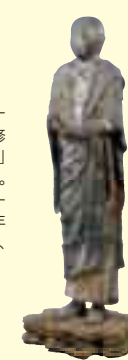
教義の中で一番重視される「空（くう）」の教えを最も理解していた弟子。現存する6体中一番の若者で表情は優しい。両手を重ねて衣を押さえるしぐさも柔らかい。
像高147.5cm



しゃ り ぼつ

舍利弗

幼児期から天才肌。十大弟子最初の弟子で修行者の最高位「阿羅漢」にわずか15日で到達。初期仏教教団のリーダー。働き盛りの壮年風でキリリとした眉、気迫あるまなざし。
像高152.7cm



もく けん れん

目犍連

幼なじみの舍利弗に誘われ入信し、教団のリーダー的存在に。神通力を持ち、餓鬼道に落ちた母を救った逸話を持つ。穏やかな目元と上がった口角で優しいような表情。
像高148.0cm



ふ ろ な

富楼那

もとは貿易商人だったが出家。豊富な経験からくる説得力ある弁説に優れていた。優しさあふれる穏やかな表情をたたえたふくやかな頬の顔は、少し右向きの角度。
像高148.7cm

まふさんすいず

麻布山水図

展示場所

文化交流展示室 基本展示室 Ⅲテーマ

展示期間

2009.7.7～2009.8.16

●DATA

ジャンル／絵画

時代／奈良時代

8世紀

所蔵／九州国立博物館



麻布の上に山水を背景にして牛、水鳥、草木、波などが墨で描かれている。平安時代に成立した日本独自の絵画、大和絵の源流とされ、奈良・東大寺の正倉院に収められている山水図とよく似ており、作成は8世紀にさかのぼる。

A.D.

★8世紀

025050075010001250150017502000

九州国立博物館

きゅうはくトリビア①

あじっばに謎の石…

これは「石部當（いしがんとう）」と呼ばれる魔除け。神饌ではホームセンターで買えるほどポピュラーで、「守銭の突きあたり」で多く見られる。九博ではあじっばで見つけろ。

きゅうはくトリビア②

飛ばないワクロウ

建物の北側に、眼光鋭いワクロウが2羽。家はこし、精巧に作られた模型。ガラス張り壁面に野鳥が衝突するのを防いでいるのだ。今日も見張り番、ゴフクロウさまです。

ふかばちかたどき

深鉢形土器

展示場所

文化交流展示室 基本展示室 Ⅰテーマ

展示期間

2009.6.23～2010.3.31

●DATA

ジャンル／考古

時代／縄文時代

約4500年前

所蔵／東京国立博物館



煮炊きに使用した縄文土器。縄目文様を下地に、直線と曲線を組み合わせてつくる均整のとれた文様は、この時期の東北地方によく見られる構図である。

★約4,500年前

-2000-1500-1000-5000B.C.→A.D.

九州国立博物館

かちょうはくえらでんうるしほん

花鳥箔絵螺鈿漆盆

展示場所

文化交流展示室 基本展示室 Ⅴテーマ

展示期間

2009.8.18～2009.10.25

●DATA

ジャンル／漆工

時代／インド・ムガル朝

16～17世紀

所蔵／九州国立博物館



箔絵（漆で文様を描き、その上に金箔をはる技法）に螺鈿を交えて、花や鳥の文様を華やかにあらわしている。南蛮交易の経由地だったインドでは、日本の漆器を模したこのような作品が数多く作られ、ヨーロッパ方面に送り出された。

A.D.

16-17世紀★

025050075010001250150017502000

九州国立博物館

たま

玉ホベル

展示場所

文化交流展示室 基本展示室 Ⅴテーマ

展示期間

2009.8.18～2009.9.27

●DATA

ジャンル／民俗

時代／琉球・第二尚氏時代

19世紀

所蔵／東京国立博物館



琉球王府から神女に下賜された祭具の一つ。色とりどりのガラス玉の帯の先には三角形の裂地「ハビル」が付いている。ハビルとは蝶のことで、蝶を精霊・魂として信仰する琉球の風習からできた意匠である。

A.D.

19世紀★

025050075010001250150017502000

九州国立博物館

によらいりゆうぞう

如来立像

展示場所

文化交流展示室 関連展示室 第9室
トピック展示「東南アジアの美術」(仮称)

展示期間

2009.8.5～2009.9.23

●DATA

ジャンル／彫刻

時代／タイドヴァーラヴァティー時代

8-9世紀

所蔵／九州国立博物館



両掌に千輪輪を刻んだブロンズ像。6世紀後半から11世紀にかけて、現在のタイには仏教信仰を中心に多くの宗教的造形を残したドヴァーラヴァティーという国があった。本像はその東北地方で造られた仏像である。

★8-9世紀

A.D.

025050075010001250150017502000

九州国立博物館

ゆうへいしきませいせつけん

有柄式磨製石剣

展示場所

文化交流展示室 関連展示室 第3室

展示期間

～2009.8.30

●DATA

ジャンル／考古

時代／弥生時代

B.C.4-3世紀

所蔵／九州国立博物館



朝鮮半島無文土器時代の墓の副葬品として知られる石製の剣。柄と剣身を同時に原石から磨(と)き出して形成され、弥生時代初期の西日本でも副葬例がある。新しい習俗を持つ人々の半島から日本への訪れがうかがえる。

B.C.4-3世紀★

-2000-1500-1000-5000B.C.→A.D.

九州国立博物館

7月

Monthly Schedule

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「中世の造形 鎌倉～室町時代の日本」(土)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)

8月

Monthly Schedule

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「東南アジアの美術」(仮称)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)

9月

Monthly Schedule

火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「長崎の興福寺」(仮称)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)

Goods

どう着る？ 九博の夏T

九博オリジナルTシャツで、夏をエンジョイ！
ショップスタッフも着用しているので、ぜひ
コーディネート参考にしてくださいね。

2,100円

(150cm、S、M、L、LL)

「為政以德」印のプリントが
洗～い。九博好きな手ぬ
ぐいWで身に着よう。

手ぬぐい
1,050円

2,100円

(150cm、S、M、L、XL)

仏像ファンには
たまらない人気
の1枚。文化系
おしゃれ女子、
男子を演出。

子ども用
2,100円

(90、110、130、150cm)

大人用
2,415円

(M、L、XL)

人気の「針聞書」プラス赤で
目立ち度No.1。シルエット
クイズもできそう。

2,100円

(150cm、S、XL)

九州国立博物館ミュージアムショップ ☎092 (918) 8818 <ショップ直通>

資料整理部会
ボランティア
安元 保真さん

自分で
整理した品が
展示室に並ぶ
姿を思うと
ワクワクします

郷土玩具を未来に残す資料づくりです

福岡市在住の収集家・秋吉元氏に寄贈していただいた約16,000点もの郷土玩具。それらを調査し、データベース化するのが資料整理部会です。大きな、保存状態、どこで、誰が、いつごろ作ったものかを1点ずつ記録し、写真撮影をします。週に1度の作業で、1人当たり2、3点進めるのがやっとの地

もっと
きゅうはくを
観る
知る
遊ぶ

展示に必要なスペースが
データで分かるよう、大
きさを記録

あじっば 探検

のぼって、もぐって「たなだ」で遊ぼう

あじっばの左奥に設置された「たなだ」には、好奇心をくすぐる遊びがいっぱい。例えば、棚の上にある“ふし穴”。のぞき込むと、そこにはタイの寺院などアジアの国々の風景や工芸品が隠されています。「別の穴から見ると同じ景色が違って見えたり、あっと驚く仕掛けがあります。私たちが楽しみ方のヒントをお教えしますよ」とボランティアの原口尚喜さん。また、棚の下は視聴覚機器が明るく光を放ち、まるで秘密基地のよう。「ここに潜り込んだり、しばらく出てこない子どもも多いんですよ。のぞいて、触って、耳を澄ませてください。「たなだ」で遊べば、アジアをもっと知りたくなるはず。

聞こえてくるのはいろんな国の街の音。にぎやかだったり、穏やかだったり、聞き比べると全然違う！

聖の穴をのぞくと、そこはタイの街！いろんな穴から見てみよう。

お面の目から見えるものは？
よ～くのぞいてごらん。

韓国など5カ国の文化を映像で紹介。
まるでアジアを旅しているよう。

階段は展示ケースでもあるのだ。カチカチ乗っても割れなかった強化ガラス製。

あじっばボランティア
原口 尚喜さん

7月 Monthly Schedule

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「中世の造形 鎌倉～室町時代の日本」(土)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)

8月 Monthly Schedule

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「東南アジアの美術」(仮称)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)

9月 Monthly Schedule

火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

■特別展 (3 階)
■文化交流展示室 第3室
■文化交流展示室 第9室
■文化交流展示室 第10室
■文化交流展示室 第11室

「長崎の興福寺」(仮称)
「天にささげる器」(木)
「多彩な江戸文化 ～18世紀京都の画家たち～」(金)
「長崎の興福寺」(仮称)